建設コンサルタンツ協会とコンサルティングエンジニア連盟の役割分担について

1．加盟対象（会員）

（1）建設コンサルタンツ協会（建コン協）

・一般社団法人であり、会員は建設コンサルタント業を営む企業・法人

（2）コンサルティングエンジニア連盟（CE 連盟）

・政治団体であり、会員は業界の趣旨に賛同する個人技術者

2．役割分担

（1）建コン協（行政への働きかけ）

・建設コンサルタントの課題の解決に向けて、各社の意見を集約して業界の要望と提案を根拠資料と共に取り纏める。

・これらの意見を、主として行政（発注者）へ働きかける。（発注者との意見交換会や技調との協議など）

（2）CE 連盟（立法府への働きかけ）

・業界の要望と提案を、職域代表議員を通じて法的な要請や課題の解決を立法府へ働きかける。（品確法の制定・改定・推進、事業量の確保、毎年の技術者単価のアップなど）

3．活動方針

・職域代表議員に何をしてもらえるのかという受け身ではなく、何もしてもらうかといった能動的な活動が重要。（例えば具体の要望と提案とその根拠資料の作成など）

・公共事業費の確保や技術者単価のアップは毎年一定の成果を得ていますが、技術者の地位向上（業法の制定）、技術競争の普及、知的財産権の保護、賠償責任の上限設定や瑕疵保険制度の拡充、設計者の氏名公表（銘板設置）などの課題解決も重要なテーマ。

・一方で、議員も独自の勉強会を立ち上げて政策提言をされているので、その内容もお聞きすることも重要。（事業評価の割引率や事業の妥当性の新評価方法の提案など）

4．職域代表議員の応援

・建コン協や企業（法人）は政治活動を制限されるので、個人技術者の集まりである CE 連盟が選挙支援や寄付活動を推進する。

・職域代表議員の高位当選は国会での発言力に直結するので、高位当選を目指す。